

◆ 「向陽高校 SSH 地球研究研修」(11 月 20 日～22 日実施)

本校 SSH 事業では、「科学的探究心の育成を図る」を更に深化させるため、国内有数の研究施設である大学共同利用機関法人人間文化研究機構の「総合地球環境学研究所(京都)(地球研)」で令和 3 年度初めて研修を実施しました。選抜した生徒達(2 年 SS 課題探究 I で水質を研究している生徒より 6 名選抜)は昨年より琉球大学農学部 安元先生や理学部 新城先生が行っている八重瀬地区の水質調査に同行したメンバーで、2 年の課題研究では化学分野と地学分野に分かれ、赤土汚染や、湧水、水質の研究を行っています。本研修では研究施設で水質分析の実習や研究施設の見学、研究者から直に講義や助言を頂く研修となりました。



【総合地球環境学研究所にて】



【講話の様子】



【入所説明の様子】

研究者による講義もいくつか受講しました。研究所所長の山極壽一氏より「ウェルカムビデオメッセージ」で研究所について概要を説明して頂きました。地球研は環境、文化などの問題について理系研究の元取り組む「文理融合の研究施設」であることを紹介して頂いた。副所長ハイン マレー氏や研究員の中原聖乃氏からも地球環境問題やマーシャル諸島の環境問題『環礁』などの講義をして頂きました。

◆ 水質の分析実習について

新城竜一教授(総合地球環境学研究所・琉球大学)、シン キチヨル准教授(総合地球環境学研究所)、藪崎志穂研究員(総合地球環境学研究所)の三氏に講師をして頂き、持参したサンプルを使用して以下の分析実習を行いました。高校では扱えない高度な分析を体験しました。

- 誘導結合プラズマ質量分析装置での測定と解説
- イオンクロマト装置での測定と解説
- 安定同位体比質量分析システムでの測定と解説
- 分析結果のエクセルによるデータ整理



【水の分析について】



【指導頂いている様子】



【日本地下水学会での発表】

12 月には沖縄県で開催された「日本地下水学会 秋季講演会 2021 年沖縄大会シンポジウム」で高校生が取り組む研究の紹介することが出来ました。本研修でお世話になった皆様には、改めて感謝申し上げます。